

フンボルトペンギンに対するエンリッチメントの数々

A number of enrichments for Humboldt penguins

津村悠介

Yusuke Tsumura

要約

野毛山動物園で飼育しているフンボルトペンギンにおいて、展示場の陸地は起伏のない平坦で趾瘤症を発症しやすい環境となっており、また繁殖期に問題行動を起こす個体が存在しているため、趾瘤症予防のため刺激の少ない飼育環境の改善や雄の繁殖期の問題行動の抑制などが課題としてあった。そのため、まず趾瘤症の予防のためにエンリッチメントツールを導入した。新たな刺激を与え、同じ場所にとどまる時間を減らし、水中にいる時間を増やすことで、足裏の特定個所への負重を予防することを目的とした。また、繁殖期の問題行動の抑制のためにデコイの使用を試みた。エンリッチメントツールは2020年4月～2021年4月までの期間に11種類を導入した。本研究では効果が得られた5種のツールを紹介する。一番効果が得られたのは、水中にいる時間を増やすことを目的に実施したアジを水ごと凍らせたツールだった。ただ、効果測定を客観的に行ったものではなく主観的に評価したものであるため、今後の課題としてエンリッチメントツールの導入で終わるのではなく効果検証を行い、より効果のあるエンリッチメントツールの導入を目指していく。